

平成24年度生活環境部観光商工課執行目標達成状況表

番号	執行目標項目及びその内容	目標とする指標 (具体的な数値・内容)	達成 状況	達成済の結果及び未達成の場合はその理由と取組のプロセス
1	<p>観光協会の自立に向けた方策の検討</p> <p>資金面からの自立を目指すための方策を検討する。</p>	<p>観光協会が、市が策定を計画している観光振興計画等の推進に向けた中核組織として、自主事業及び関連観光産業との協調等によって自主財源を確保できる体制を構築する。</p>	△	<p>観光協会の組織運営のあり方、事務処理ルールづくりについては、観光協会の事務体制における課題（人員数など）も多く、十分な作業が進まなかった。また、事業運営については市の委託事業に加え、自主事業を1事業を実施した。委託事業に関しては期待の効果と成果を得たが、独自の企画やアイデアによる事業の実施については、引き続き市の積極的な関与が欠かせない状況である。</p> <p>次年度も引き続き、観光協会の自立に向けた方策の検討に加え、実際の行動計画に基づく取組を支援する。</p>
2	<p>市と観光協会との役割分担の明確化、目標の共有化</p> <p>市との役割分担の明確化、目標の共有化を図る。</p>	<p>市が進める観光振興施策を実現するため、市と観光協会が互いの特長を最大限に発揮できるような相互連携関係を構築する。</p>	△	<p>平成24年度は組織体制の強化を中心に、月2回の事務局連絡会議を開催した。</p> <p>なお、観光協会事業の大部分は、市の委託事業が占めているが、協会独自の取組や発案、特異性を活用した取組は至らなかった。</p> <p>次年度以後も引き続き、市の観光業市のパートナーとして成長を促し、必要な期間においては積極的な市の関与をもって組織自体の自立を支援する。</p>

3	木津川アートの方向性の確立 持続可能な開催に向けた方策を確立する。	木津川アートが継続実施できる運営組織の確立、手法を検討する。	◎	「木津川アート2012 当尾小学校編」を平成24年11月3日～18日までの16日間開催した。 その成果を含め、過去3年に開催した関係者(木津川市内在住)に木津川アート検証委員会への参画を求め、総勢40名以上の委員による会議を計4回開催し、今後も継続開催が可能となる木津川アートのあり方について、その手法、開催準備期間、木津川アートの定義などを含め確認することができた。今後は、この考え方にに基づき、約20か月の期間をもって1度の木津川アートを開催していく。
4	3町商工会の統合 3町商工会の統合に向け、京都府商工会連合会に働きかけ、京都府の協力を得ながら、3町商工会の早期統合をめざす。	3町商工会の統合スケジュールを確定し、早期統合をめざす。	△	平成25年4月1日の3町商工会の統合・合併による「木津川市商工会」の設立準備を進めてきたが、合併契約書の締結後に組織した「設立準備委員会」における詳細の調整が不調に終わり、当初の予定期日における合併は実現しなかった。 次年度においても、合併契約書の趣意に基づく協議を進め、早期の合併が実現するよう積極的に支援を図る。
5	住宅改修助成制度の創設 緊急経済対策の一環として、住宅改修助成制度の制定を目指す。	平成25年度からの制度実施に向け、制度設計を実施する。	○	平成25年4月1日施行の「木津川市木造住宅耐震改修事業費補助金交付要綱」を制定するとともに、制度の円滑な始動のための周知を実施した。

※達成状況の欄は、目標以上に達成した場合は◎、目標どおり概ね達成した場合は○、目標が未達成の場合は△を記入すること。